

かわら版 ”とちぎのまちの駅”

第27号 2005.7.30

発行人 まちの駅ネットワークとちぎ(ま・ね・とち)

吉田 恵子

§ ”全国まちの駅だより” ~いきなり番外編~ §

全国に約400あると言われるまちの駅(その正確な数はだれも知らない)。これから、ときどき、全国の「まちの駅情報」もお伝えしていきたいと思います。初回は、まちの駅が一番多い福岡県から。

でも、今回はまちの駅そのものが主役ではなく、まちの駅をつくるお仕事をなさっている方のお話です。

その人の名は、今泉重敏さん。

福岡市内に事務所を構える、まちづくり計画研究所の所長さんとして、甘木・朝倉50の駅はじめ、福岡県内のいくつものまちの駅立ち上げに、関わっています。

今泉さんは、福岡県内各地に出向き、まちづくりのコンサルタントもなさっているのですが、昨年12月に訪れたのが、福岡県古賀市の五所(ごしょ)八幡宮という神社。

地域の中に何かまちづくりのヒントになるものはないか、みんなで街歩きをしている途中、立ち寄ったのがこの神社です。

境内に植えられている1本のクスノキを見た今泉さん。

木の上の方にできている”コブ”にびっくり仰天。

なんと、そのコブは、あのアニメ界のスターの一人(?)「ムーミン」にそっくりだったのです。まるで、クスノキにおんぶしたムーミンが、木の上から参拝者を見ているよう。

あまりの”大発見”に震えてしまった今泉さんも、そこはれっきとしたまちづくりスト。

次の瞬間、この「ムーミン」をまちづくりに活かそうと、知恵を働かせ始めました。

それから、半年後の平成17年6月3日午後6時3分。

五所八幡宮には老若男女が大集合し、この「ムーミンの木」を囲みました。名づけて「夢民(むーみん)クラブ」。6月3日も6時3分も「むー・みん」にちなんでの設定です。

夢民クラブの面々は、この木を大事にしながら、まちづくりに活かしていこうと、大張り切り切りのこと。

毎日おおぜいの市民が参拝に訪れ、この木の下を通っているのに、いままでだれも気づかなかつた「ムーミン」の存在。

ここに初めてやってきた「よそもの」今泉さんの手で、ついに発見されたのでした。

この夏。みなさんも「よそもの」になったつもりで、新鮮な目で、もう一度、周りを見渡してみませんか? もしかすると、大変な「お宝」が眠っているかもしれませんよ。

少し気が早いけど、第7回全国まちの駅大会は17年10月に新潟県見附市で開催されます。鬼に笑われますが、第8回全国まちの駅大会は18年2月に福岡県甘木市で開催されます。甘木へ行くと、「ムーミンの木」の第一発見者=今泉さんに、もれなく会えます!

まねとちへの情報提供&ご用命&「お宝発見!」の際は

E-mail : manetochi@mbn.nifty.com

Fax. 028 - 622 - 8501 へ。